

シサムとよばれた日本人 松浦武四郎をたずねる

徳川幕藩体制の終わりから明治政府成立の時期、ひとりの探検家がありました。三重県松阪市出身の松浦武四郎です。

武四郎は、アイヌ民族と寝食をともにしながら蝦夷地（北海道）の調査をしました。アイヌ民族の在り方を尊重しながら調査をする武四郎は、アイヌから「シサム（隣人）」とよばれました。

やがて武四郎は役人に登用され、蝦夷地の調査を命じられます。しかし、武四郎は幕府によるアイヌ民族への搾取、同化政策を目の当たりにするようになり、その不当性を幕府に訴えます。また、幕府によるアイヌへの仕打ちを一般の人に知らせようと試みて命さえ狙われるようになりました。

アイヌ民族の「隣人」であり続けるために権力に向かおうとした武四郎の生き方の奥にあるものは何だったのか、現地で学びます。

2019年 11月2日(土)

10時30分 近鉄松阪駅 集合

または、

10時50分 松浦武四郎記念館 集合

主催・申込先
京都教区カトリック正義と平和協議会
(電話&FAX 075-223-2291)

日程

8時15分発 近鉄京都駅（特急）

10時2分着 近鉄松阪駅

10時50分 松浦武四郎記念館
松浦武四郎生家見学

*記念館では学芸員による解説があります。

13時30分 松阪教会
(ご聖体訪問・昼食)

15時00分 近鉄松阪駅で解散

持ち物 弁当、飲み物、交通費

*入館料と松阪駅～記念館までのタクシー代は、主催者が負担します。

定員 20名

(定員に達し次第締め切ります)

☆交通費の補助があります。

松浦武四郎記念館への交通費が2000円
よりもかかる場合は、2000円を上限に
補助をします。

交通費が2000円以下の場合、補助はありません。

申込書

【住所】

【集合する場所】 近鉄松阪駅 ・ 松浦武四郎記念館

*どちらかに○をつけてください。

【名前】

【連絡先電話番号】

【所属教会】